

2024年度(令和6年度)新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	75.0	16.7	0.0	8.3
女子	35.7	50.0	14.3	0.0

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	75.0	8.3	16.7	0.0
女子	64.3	35.7	0.0	0.0

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	75.0	16.7	8.3	0.0
女子	14.3	64.3	21.4	0.0

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	17.00	21.08	38.83	43.00	53.67	9.09	154.83	23.00	57.08	女子	15.07	15.07	41.21	35.36	34.07	9.83	139.14	14.57	51.79

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

・運動が好きな児童は多いが、休憩時間に外に出て遊ぶ児童が減っており、外で体を動かしたいと考える児童が少ない傾向がある。

体力面

・女子児童の体力・運動能力項目が県平均値かつ全国平均値未満のものが多く、運動やスポーツを日頃から行う割合が少ないことが要因の一つと考えられる。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・授業の中での運動量を増やす。
- ・体育以外の運動に活かせるような活動も授業の中で行うことで、休憩時間や放課後に運動をしたいと思える意欲を育てる。
- ・異学年での活動も授業の中で行うことで、運動に対する楽しさを感じる場面を増やす。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・委員会活動等で、個人やクラスで行える運動を企画することで、休憩時間等にもより運動を行いたいと思える環境を作る。
- ・休憩時間に異学年で行える運動を企画することで、休憩時間に体を動かしたいと思える環境を作る。

2025年度(R7年度)の重点目標値

・休憩時間等の遊びの中で運動時間を増やすことが、体力の向上につながるため、取組を継続して行うことで20mシャトルラン・50m走等の県平均値かつ全国平均値を上回ることを目指す。